

标准日语语法 练习册

- 顾问 顾明耀
- 主审 赵蔚青
- 编著 张海蓉



高等教育出版社
HIGHER EDUCATION PRESS

标准日语语法 练习册

顾问 顾明耀

主审 赵蔚青

编著 张海蓉



高等教育出版社
HIGHER EDUCATION PRESS

图书在版编目(CIP)数据

标准日语语法练习册/张海蓉编著. —北京:高等教育出版社,2005.7

ISBN 7-04-016938-X

I. 标... II. 张... III. 日语—语法—高等学校—习题 IV. H364-44

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2005) 第 067488 号

项目策划 顾明耀 策划编辑 祝大鸣 陈 薇 责任编辑 李 炎
封面设计 王凌波 版式设计 孙 伟 责任校对 李 炎
责任印制 陈伟光

出版发行	高等教育出版社	购书热线	010-58581118
社 址	北京市西城区德外大街4号	免费咨询	800-810-0598
邮政编码	100011	网 址	http://www.hep.edu.cn
总 机	010-58581000		http://www.hep.com.cn
经 销	北京蓝色畅想图书发行有限公司	网上订购	http://www.landaco.com
印 刷	北京外文印刷厂		http://www.landaco.com.cn
开 本	787×960 1/16	版 次	2005年7月第1版
印 张	19	印 次	2005年7月第1次印刷
字 数	360 000	定 价	26.50元

本书如有缺页、倒页、脱页等质量问题,请到所购图书销售部门联系调换。

版权所有 侵权必究

物料号 16938-00

序

《标准日语语法》1997年出版以来，受到广大日语学习者的欢迎，同时得到许多同行专家的鼓励，作为编者我们感到这些都是最高的奖赏。经过修订的《标准日语语法》(第二版)已于去年问世，坊间反应差强人意。我们不能不感谢广大读者对我们的支持与信赖，不能不感谢同行专家学者对我们的勉励与帮助。

在根据读者的反馈意见商量第二版的修订工作时，我们还议论到两件事。其一是，《标准日语语法》虽然有其特色，但对于学习者特别是初学者来说，未免嫌其度过深、量过大、学术气息过浓。若把此书作为查阅用书，另有一本简单明了提纲挈领的随身携带语法书，就更便于读者学习了。其二是，《标准日语语法》对学习者理解日语语法固然不失为好的教材，但对于学习者尤其是初、中级的学习者来说，未能解决他们如何掌握和运用语法的问题。倘能有与其相应并达到一定数量的练习材料，对他们的学习必定大有裨益。毫无疑问，这两个要求是完全合理的，满足他们的这些要求，我们责无旁贷，义不容辞。

读者需要的简明语法该是怎样的呢？我们试着描绘了一个蓝图，虽则简单明了提纲挈领，但是，一要勾勒出日语语法的轮廓，二要理清各个项目的脉络，三要帮助学习者把最重要最基本的概念建立起来，建立得科学、准确、牢固，四要回答学习者学习中经常出现的疑难问题，回答得简要、清楚、实用。

读者需要的练习材料该是怎样的呢？我们也试着勾画了一个蓝图，虽则是一道一道的练习题，但是，一要突出日语语法的要点、重点和难点，同时要有系统性、整体性，二要注意培养日语的交际能力，同时要兼顾各类日语考试的应试需要，三要帮助学习者把容易混淆处区分得清清楚楚，把容易出错处掌握得扎扎实实，四要适应各种目的的学习者的需要，不管按照哪个语法体系学习，不管为了什么目的学习，使用这本练习都能明显见效。

应该说这两本书的编写是很有难度的，没有深厚的语法实力，没有丰富的教学经验，很难写好。我负责地推荐了赵蔚青(《标准日语语法》(第二版)的执行主编)、张海蓉两位同志。这两个人是我十多年前的学生。她们走上教学岗位以后，成长得很快，如今已经是相当成熟的日语教师了。她们扎实的学力、敏捷的思路、发现问题解决问题的能力，每每令我自愧弗如。我相信，她们来写一定会比渐入老境而时感力不从心的我更为得心应手，她们写出来的东西也一定能让广大读者觉得解渴感到满意。

两部初稿完成以后，我匆匆读了一遍。我以为基本达到了原定的目标，大致可以满足读者的需要。要说完美，一次成稿肯定不行。只有出版以后再听取日语学习者和广大读者的意见，再听取专家们老师们的意见，反复琢磨，多次修改，才能站得住。

我怀着和两位编者同样的心情，期待着广大读者和专家学者对这两本书的批评指正。

我还比两位编者有多一层意义的期待,期待着在广大读者和专家学者的批评指正中,两位编者继续成长,不断进步,不仅把这两本书改得更趋完善,而且还能再拿出几本对日语学习者有裨益而又能让他们满意的好作品来。

顾明耀

2005年6月1日

于日本爱知大学

前言

《标准日语语法练习册》是一本与《标准日语语法》配套的语法习题集，可供大专院校学生以及有一定日语基础的自学者使用。

本书遵照《标准日语语法》的语法体系编写。全书共分十章，各章节均与《标准日语语法》保持一致。考虑到各种目的的学习者的需要，本书既有基本概念的练习，帮助学习者系统理解和巩固语法概念；也有提高练习，帮助学习者区分日语语法中容易混淆的地方。除了各节中语法内容的针对性练习外，每章还设有综合问题，旨在提高学习者的综合运用能力。同时，本书综合了各种题型，如选择题、填空题、改错题、论述题、阅读理解题等。所选例句以及文章也大都出自原文，可读性、趣味性、时事性较强。希望通过多种题型的组合变化以及新鲜的语言材料，使得语法学习不再枯燥无味。

在本书即将出版之际，感谢高等教育出版社以及担任本书顾问的爱知大学顾明耀教授对我的信任，把这项有意义的工作交给了我。顾明耀教授不仅为本书提出诸多宝贵的意见，而且提供了许多最新的日语原版图书和词典，为本书的编写创造了良好的条件。西安交通大学赵蔚青副教授在百忙之中为本书确定了基本方向和练习重点，并审阅了全稿，提出了不少修改意见，保证了本书语法概念的准确性。复旦大学中文系研究生山田敦子审阅了全稿，确保了习题的正确性。此外，本书中的一些问题还承蒙西安交通大学赵刚教授和上海财经大学外籍教师小林利逸先生赐教，在此一并表示深深的谢意。

在编写过程中，本书参考了大量国内外相关著作，并冒昧借鉴或引用了其中的部分习题及文章，但是有于篇幅所限，未能一一注明，在此谨向有关作者和编者表示诚挚的歉意。

受到个人的水平、掌握的材料和编写的时间所限，书中难免有错误或疏漏之处。恳请专家学者和广大读者批评指正，以便将来有机会加以改进。

编者
2005年5月

目 录

第一章 绪 论

综合问题	2
------------	---

第二章 体 言

第一节 名词	8
第二节 代名词	12
第三节 数词	17
综合问题	21

第三章 动 词

第一节 动词及其类别	28
第二节 动词的活用及各活用形的用法	30
第三节 自动词和他动词	32
第四节 动词的体	36
第五节 动词的时	40
第六节 动词的态	44
第七节 授受动词	50
第八节 表示其他语法意义的补助动词	54
第九节 动词的文语残留	57
综合问题	58

第四章 形容词 形容动词

第一节 形容词	66
---------------	----

第二节 形容动词	70
综合问题	73

第五章 连体词 副词 接续词 感叹词

第一节 连体词	78
第二节 副词	81
第三节 接续词	89
第四节 感叹词	94
综合问题	96

第六章 助动词

第一节 助动词的性质、特点及分类	104
第二节 接动词后表示态的助动词	106
第三节 接于各种活用词后表示时的助动词	110
第四节 构成郑重语、尊敬语的助动词	114
第五节 接在无活用词语后使之具有陈述作用的助动词	117
第六节 表示各种陈述方式的助动词	118
第七节 文语助动词的残留	126
综合问题	127

第七章 助词

第一节 助词的特点与分类	134
第二节 格助词	135
第三节 接续助词	143
第四节 并列助词	151
第五节 提示助词	153
第六节 副助词	158

第七节 语气助词	162
综合问题	168

第八章 敬 语

第一节 敬语的性质、功能、类别	176
第二节 尊敬语	180
第三节 谦让语	185
第四节 郑重语和美化语	190
综合问题	193

第九章 句 法

第一节 句子、句素	204
第二节 句子成分(一)	205
第三节 句子成分(二)	208
第四节 陈述方式	210
第五节 句子的分类	212
综合问题	216

第十章 篇章法

第一节 语段	222
第二节 文章结构	226
第三节 文章体裁	231
综合问题	233

附录

参考答案	241
参考文献	284

第一章

绪 论



综合问题

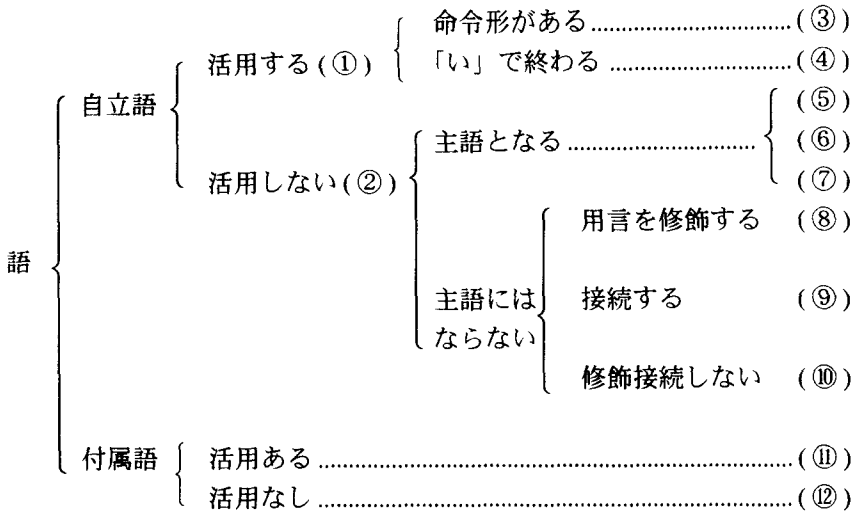
- ▶ 一、十九世紀ドイツの言語学者による言語類型の分類について述べなさい。
-

- ▶ 二、「自立語」と「付属語」の違いを挙げなさい。
-
-
-

- ▶ 三、次の叙述が正しければ○、間違っていれば×を付けなさい。

1. () 名詞や動詞などの自立語に付属語を付けて、さまざまな文法範疇を表す。
2. () 述語が文末に置かれ、主語はそれに先立つ。
3. () 修飾語は常に被修飾語に先立つ。
4. () 用言と一部の助動詞は表現面での用い方に応じて、規則的に語形を変えることがある。
5. () 自立語にも付属語にも活用するものがある。
6. () 付属語はいつも自立語の後に付くが、その前に付く場合もある。
7. () 日本語は動詞や名詞が活用によって様々な機能を表す。
8. () 用言は動詞、形容詞、形容動詞からできている。
9. () 文は普通幾つかの文素からできているが、一つの文素でできているものもある。
10. () 連体詞は自立語の一つなので、単独でも使える。
11. () 文章は文法研究の最も大きい単位なので、文章は必ず幾つかの文からできている。

▶ 四、次の()の中に、適当な品詞名を記入しなさい。



- ①() ②() ③()
 ④() ⑤() ⑥()
 ⑦() ⑧() ⑨()
 ⑩() ⑪() ⑫()

▶ 五、次の下線部の言葉の品詞名を書きなさい。

1. 食べたいだけ食べてください。()
2. ほとんどの家庭が、テレビを持っている。()
3. ジャッキー・チェンといえば、日本では知らない者はないだろう。()
4. 砂利を棒で掘ると、すぐに黒っぽい土が現れた。()
5. 同級生で結婚していない人もいるわよ。()
6. 船はだんだん遠くなった。()
7. ねえ、飲みに行かない?()
8. 天気予報によると、明日雨が降るそうだ。()
9. 私は昨日銀行へ行った。それから、図書館へ本を返しに行った。()
10. ある日の朝、私はふと過去のことを思い出した。()
11. 花が美しく咲いた。()
12. みんな静かになった。()
13. 勉強することは面白くない。()

14. 今年こそがんばるぞ。()
15. 寂しさに耐えられない。()

▶ 六、次の各文の下線部が自立語ならA、付属語ならBと書きなさい。

1. 浮世絵とは何かという問いから始めよう。
2. ところが、そこに版画という技術が開発された。
3. 明らかにポスターと思われる作品も数多く見られる。
4. 先生の話も聞かないで、いたずらしている生徒が多い。
5. 彼のように勤勉な人は少ないそうだ。
6. 時間がないので、歩きながら話しましよう。
7. 私は紙粘土でかわいい人形が作れる。

▶ 七、次の文から自立語をそのまま抜き出し、①活用するもの、②活用しないもの、に分類しなさい。

1. 来週の火曜日には決して遅れずにここに来ようと思う。
①
②
2. そのようなことが事実であるはずがない。
①
②
3. 食事をしながら、テレビを見てはいけません。
①
②
4. 今年こそ日本一になれるように、選手たちはがんばっています。
①
②

▶ 八、次の文は自立語をいくつ含んでいるか、その数を()に書き入れなさい。

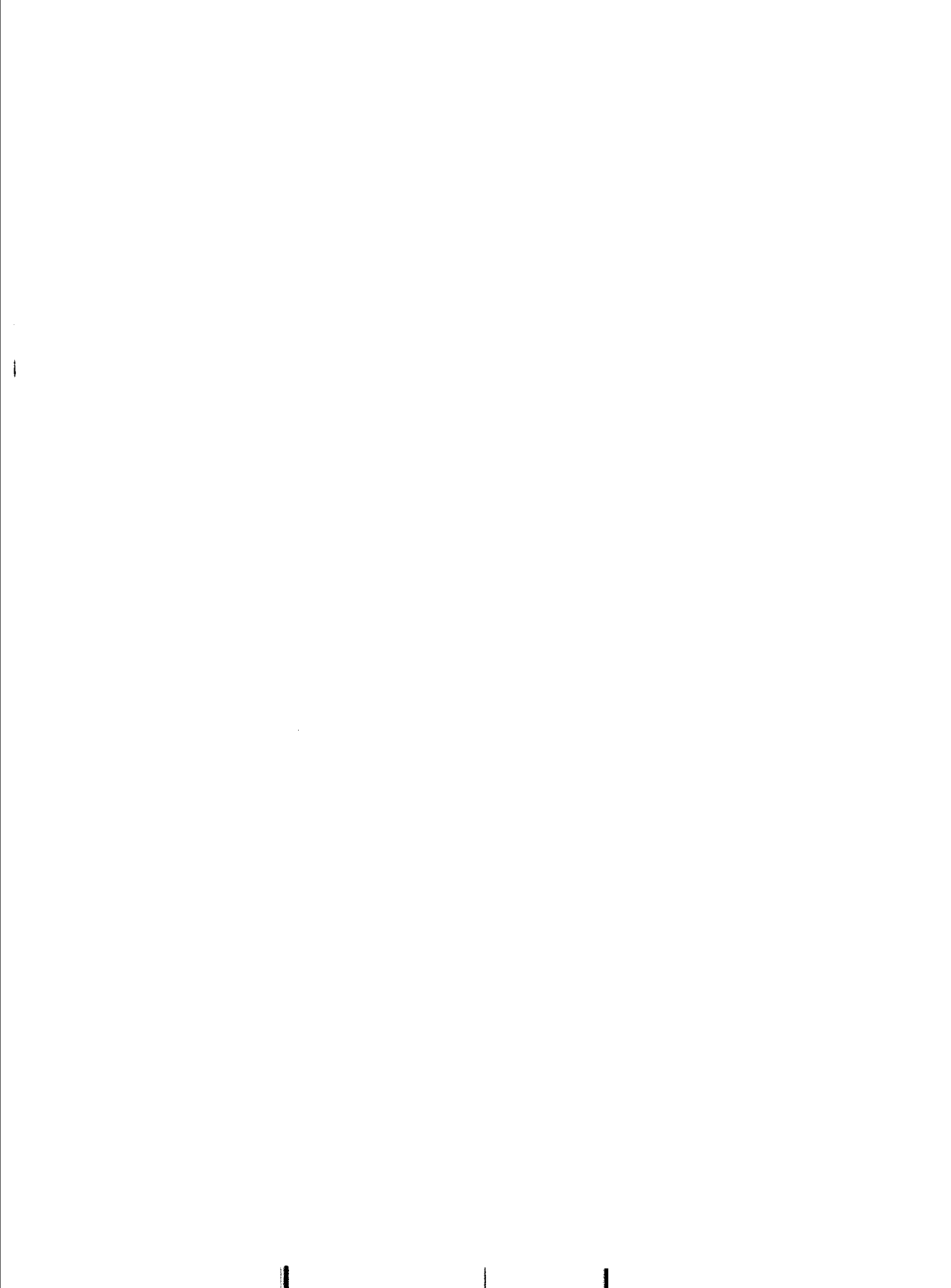
1. 私たちの生活の中には、さまざまな形で利用されている資源がある。()
2. 光るように白い大きな花は、とてもいいかおりがした。()
3. 世界地図をじっくりながめてみよう。()
4. 自然を大切にすることを持たなければならない。()
5. 時計が八時四十分を指したとき、先生が教室に入ってきた。()
6. グループに分かれて、話し合いながら、物語を作りましょう。()
7. 人間の心には互いに矛盾した二つの感情がある。()
8. 彼は貯金どころか、借金だらけだ。()
9. あの人は学者というより、芸術家です。()
10. 日本では、この頃男女ともに結婚しない人が増える一方だ。()

▶ 九、次の各組から、品詞として性質の違うものを一つ選びなさい。

1. a. あおい b. たのしい c. あいまい d. あいらしい
2. a. かう b. うしなう c. あらう d. じゆう
3. a. しかし b. から c. ところで d. そして
4. a. そうだ b. しずかだ c. きれいだ d. ハンサムだ
5. a. こら b. まあ c. もしもし d. しかし
6. a. ざあざあ b. にこにこ c. よくよく d. とろり
7. a. むの b. この c. どんな d. おおきな
8. a. しかし b. でも c. けれど d. かず
9. a. てのひら b. こちら c. そら d. のはら
10. a. 一人 b. 一本 c. 一枚 d. 一層

▶ 十、次の単語の区切り方が正しいものを選びなさい。

1. 北 の 空 に 美しい 星 が 見えます。
2. うぐいす が 美しい 声 で 鳴き ます。
3. 母 は 電車 で 通勤 する。
4. 妹 は 夜 も 本 を 読み 続け て いる。
5. 公園 の 桜 が 咲く。
6. 船 は するどい 汽笛 を 鳴ら した。
7. 海 が 目 の 前 に 大きく 広が った。
8. そろそろ 出かける 時刻 らしい。



第二章

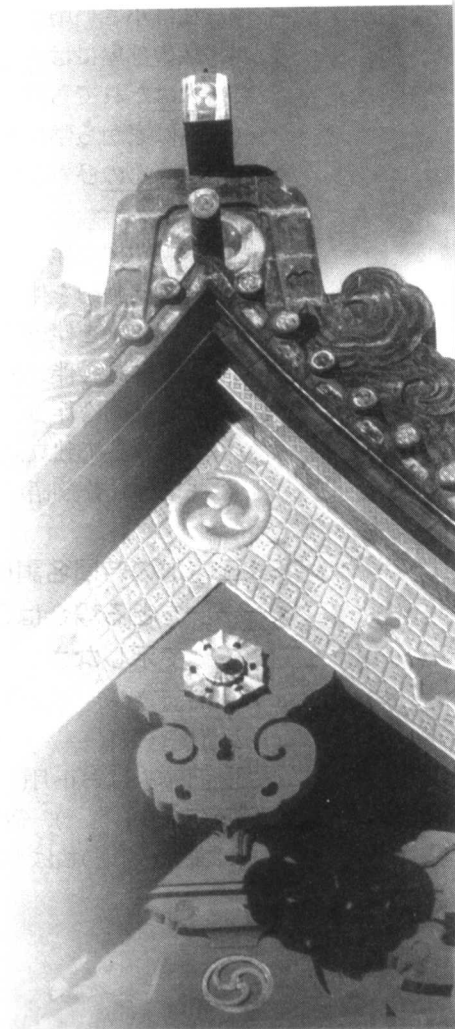
体言

第一节 名词

第二节 代名词

第三节 数词

综合问题



第一节 名词

▶ 一、次の中から名詞を選びなさい。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|---------|---------|
| 1. 魚 | 2. 全人代で | 3. 私の | 4. 条件 | 5. です |
| 6. 言い伝え | 7. まあ | 8. 泳ぐ | 9. 困る | 10. 掃除 |
| 11. もしくは | 12. あたかも | 13. 富士山 | 14. 大きな | 15. あいだ |
| 16. 驚いた | 17. 彼女 | 18. パソコン | 19. 広い | 20. 東京都 |

▶ 二、次の下線部の名詞の用法として当てはまるものを、ア～キの中から選び、記号で答えなさい。

1. まるこ、早く起きなさい!()
2. 彼はインドからの留学生です。()
3. 私は小さい頃から習い事をしています。()
4. 私の部屋には大きなピアノが置かれている。()
5. 人はだれでも夢を持ちたいものだ。()
6. 私は家から学校までスクールバスで通っています。()
7. かばんのひもが切れてしまいました。()

- ア. 助詞を伴って主語になっている。
イ. 助動詞を伴って述語になっている。
ウ. 助詞を伴って目的語になっている。
エ. 助詞を伴って連体修飾語になっている。
オ. 助詞を伴って補語になっている。
カ. 単独で独立語になっている。
キ. 連体修飾語の修飾を受けている。

▶ 三、次の時間名詞は「に」をとるか、とらないか判断しなさい。「に」をとる場合は○、「に」をとらない場合は×、両方とる場合は△で示しなさい。

1. さっき()田中さんから電話があった。
2. 休みの日()、私はドライブに行ったり、釣りに行ったりします。
3. 日本人はお正月()お寺や神社へ初詣に行く習慣がある。
4. 午前中()、宿題を提出しなさい。
5. 来月()私は10日間()ヨーロッパ旅行に行きます。